

いしのみき 社協だより

編集と発行 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

平成28年3月10日

第45号

〒986-0822

石巻市中央二丁目4番20号

TEL 0225(96)5290(代)

FAX 0225(96)5223

<http://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>

地域みんなで考える支え合い研修会開催

～「こんな活動あったらいいのに!」「こんな取り組みをしたい!」～



ミニテライフサポートセンター
所福祉クリエーター 酒井 保氏

第45号

の主な内容

- 民生委員児童委員・福祉協力員合同研修会
- 地域サロン活動紹介
- 福祉教育・福祉体験学習紹介
- 各地域からのお知らせ
- 桜の植樹
- 老人福祉センター寿楽荘からのお知らせ
- ボランティアセンター通信
- ひろがる善意の輪

1月28日(木)、桃生地域福祉センターで、ご近所福祉クリエーターの酒井保氏を講師にお招きし、「地域で支え合うってどういうこと」と題し講話をいただきました。当日は、地区の会長、行政委員、民生委員児童委員、福祉協力員など多数のみなさまにご参加いただきました。

地域毎に分かれて行ったグループワークでは、地域の課題やこれからの活動について話し合わせ、「地域内で問題点を話し合うことがより必要ではないか」、「近所ですきあいのある人で助け合うことが二番」、「今まで地域の状況に関心が薄かったが、これを機会に地域の現実を知り、意識的に考えていかなければならないことに気づいた」との感想をいただきました。

これから、地域でどのような取り組みが必要なのかをみんなで考える良い機会となりました。

渡波地区で民生委員児童委員・福祉協力員合同研修会を開催しました

2月4日(木)、渡波公民館を会場に、渡波地区の民生委員児童委員と福祉協力員の合同研修会が開催されました。当日は、参加者の自己紹介に始まり、地域で活動する際の目的や役割について確認を行い、その後、地域毎のグループに分かれて意見交換を行いました。

地域の中で活動されている両者が一堂に会して、地域の課題やこれからの活動について、活発な情報交換や意見交換を行い、自分たちの地域について改めて考える機会となりました。今後も地域で活動されている方々と共に、地域で助け合える住みよい地域づくりの支援を行っていきます。



目的や役割の確認



活発な意見交換



グループ毎の話し合い

地域サロン活動紹介 各地域でのサロン活動を紹介いたします

河北

皆が楽しく集えることが一番!「五十五人サロン会」

五十五人サロン会は、五十五人地区にお住まいの60歳以上の方を対象に、毎月第2水曜日、五十五人生活センターにて開催しています。現在登録しているのは21名で、時間は午前10時から正午までですが、皆さん午前9時すぎにはほとんど集まってしまうそうです。活動は体操から始まり、健康教室や季節のおりがみ体験、講話など様々ですが、後半のお茶会は必ず開催されます。毎回皆さんが持ち寄った料理やお茶菓子が並び、話が弾む楽しいひとときです。参加費は100円/月。参加者みなさんと和気あいあいと活動しています。


「あら～、これおいしい!!」
楽しいひととき


お互いに教え合うのも頭の体操

雄勝

誰でも集える居場所を創るために!! 大須「あさひの里」

雄勝地区では、東日本大震災により過疎化に一層の拍車がかかり、高齢化率が高くなり、将来への不安が大きくなっています。そんな中、誰もが集え、困ったときは手を貸しあえる、世代を超えたふれあいの居場所づくりをめざして、大須「あさひの里」が活動を行っています。

1月22日(金)には、大須集会所を会場に、お茶っこ会や健康体操、文字や数字を使った脳トレーニングやスポーツ輪投げ、かるた遊びなどを行い、最後には懐かしい歌を全員で歌って地域の交流を深めました。



何秒で完成するかな～



みなさん笑顔でかるた取り

河南

広瀬町上地区で「かしま会」が活動開始!!

広瀬町上地区では、地区会が中心となり地区敬老会の参加対象者へサロン活動の意向調査を実施し、地区会長さんを中心に参加対象者を含む計10名によりサロン活動を開始する為の準備会が3回行われました。

こうした準備の結果、サロン活動の参加希望者は38名となり、1月20日(水)に第1回目の活動が盛会に開催されました。当面は地域に住んでいる75歳以上の方を対象に月1回の活動が実施されますが、地区会が取り組むことで地区の実態に合わせた活動や地区内の仮設住宅にお住まいの方々への声掛けも行うなど、地域に開けたサロン活動が「出来ることは出来るだけ自分で行い、出来ない部分をお世話していただく」を合言葉に実施されます。


事務局よりサロン活動に
ついての概要説明

市出前講座を活用し、
介護保険について研修

桃生

毎週楽しみにしている「なごみの会」

毎週土曜日、薬田老人憩いの家で地域の方々が集まり、健康マージャンなど楽しい時間を過ごしています。また、新年会では、餅をついてみんなで食べたりカラオケで楽しいひと時を過ごしました。年間の計画には、お花見やハイキング、バーベキューなどがあり、これからも楽しい行事が開催される予定です。参加者からは、「他のサロン活動団体との情報交換や交流もしていきたい」との声も出てきています。



みんなで集まることができて嬉しいね

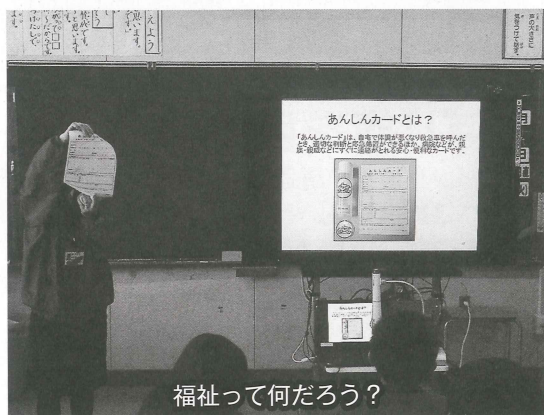
福祉教育・福祉体験学習の紹介

1月19日(火)と1月21日(木)に、総合的な学習の時間を活用し、中里小学校の3年生49名を対象に「福祉体験学習」が実施されました。

19日は、「福祉ってなんだろう?」と題して、本会職員がクイズを交えながら、福祉の意味や本会が行う事業を伝えました。また被災地障がい者センター石巻の阿部俊介代表から、車椅子生活の不安や、蛇田地区をモデルに多目的トイレに関するマップ作りを行っている話を紹介しました。

21日は、前回学習したことの実践として、キャップ

ハンディ体験(白杖体験・車椅子体験・高齢者疑似体験)を行いました。キャップハンディとは、「ハンディキャップ」の前後を入れ替えて、「立場を入れ替えて考えよう」という言葉です。体験をとおして児童からは、「お年寄りの気持ちが分かった」、「少しの段差でも困難なことが分かった」、「何かあったら積極的に声をかけたい」、という感想があり、自分の周りの方への思いやりが育まれていると感じました。さらに、一人一人が地域の中で大きな役割があることに気付いた時間となったのではないかと思います。



福祉って何だろう?



白杖体験。
「不安だよ～。誘導よろしくお願いします。」



疑似体験を行い、高齢者の気持ちを考えました。



沢山の質問がありました。

★児童のみなさんから、たくさんの感想が寄せられました

車イスの使い方や、目の不自由な方が大変だということが分かりました。これから、お年寄りのお手伝いをするときに活かしたいと思います。

白杖体験では、目が見えないとこんなに大変だったと初めて思いました。これからは、困っている人がいたら助けていきたいです。

疑似体験セットを使って体験をして、自分は、左手、左足、右手、右足が使えないだけでも生活がとても不便になることが分かりました。

私は車イス体験で段差を上るのがとても怖かったです。車イスに乗せてもらったり、白杖体験をしてとても勉強になりました。体が不自由な人がいたら声をかけようと思います。

私が車イス体験をして考えたことは、自分が障がいをもったらどうしようかということです。だから、車イスに乗っている人がいたら助けてあげたいと思いました。

私は白杖体験をしました。目が見えなくて、怖い不安でした。誘導するの大丈夫かと不安になりました。車イスではあんまり自由にいけないし、生活も階段を上るときやお風呂に入るときなど、いろいろ大変なんだな～と思いました。

僕は、車イスの体験をして、車イスの人は普段怖い思いをして生活をしているのだなと思いました。これからは車イスの人の入りやすい場所が増えるといいなと思いました。

桃生

各地域からの

報告★お知らせ

北上

～困っている人を見かけたら助けてあげたい～

2月8日(月)、中津山第一小学校5年生を対象に、また、3月7日(月)、桃生小学校3年生を対象にキャップハンディ体験が行われ、下肢障害と視覚障害の擬似体験をしました。さらに、2月10日(水)には、中津山第二小学校では4年生が、「わたしたちのできる福祉」をテーマに1年間の取り組みをまとめた総合学習発表会が行われました。

どの学校でもお互いに支え合うことの大切さや、困っている人を見かけたら勇気を出して声を掛け助け合うことの大切さを、体験を通じて学んでいただけたようです。



もうすぐ多目的室だよ。



優しく声を掛けてあげたいです。

～認知症サポーター養成講座～

この講座は、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者「認知症サポーター」を養成する講座です。全国各地で実施されており、現在は600万人を超えるサポーターがおります。

北上地区では、北上地域包括支援センターが地域のみなさんを対象に実施しており、住民サポーターが徐々に増えてきております。参加者の中には認知症問題が他人事とは思えないと感じている方も多く、「自分自身が認知症となってしまうたら」という視点も盛り込んで講話などを行っています。

本講座は市内各地域で開催されております。講座の受講をご希望の方は、市役所福祉部福祉総務課(95-1111内線2453)へお問い合わせください。また、自治会や職場等の団体・グループ単位(10名以上)での申し込みも可能で、養成講座の専門の講師が派遣されます。



みなさん、真剣です。

河南

～料理講習会～

河南地区ボランティア友の会では、年に一度料理講習会を行っています。

これは、河南地区で毎月2回実施している給食サービス(河南地区ボランティア友の会・河南地区民生委員児童委員協議会の協力)のレパートリーの拡大、共通理解、親睦などを目的としており、役員で事前に勉強会を行い、グループに分かれて調理をし、試食会も行っています。

「こんなメニューがあったらいいな」、「こんなメニューを食べてみたい」などご意見がありましたら、是非、お寄せください。また、河南地区ボランティア友の会では、施設に出向いてのボランティア活動も行っています。興味・関心のある方のお入会をお待ちしています。

お問い合わせ先
河南支所 ☎72-3725
山崎・高橋



会員同士で教え合いながら
和気あいあいと!



試食タイム!! 美味しくできました。

雄勝

～のぼり旗を目印に～

本会がフードバンク事業申請者・サロン活動団体・子育てサークルなどへご提供しているのぼり旗。雄勝では、本誌2ページで活動の紹介している大須「あさひの里」でこののぼり旗を、地域の多くの方が交流するきっかけとしてご活用いただいております。

サロン活動実施日には、のぼり旗を目印に地域のみなさんが集まり、お茶っこ会や様々な活動を行っています。参加者の方からは「のぼり旗をみると安心するんだ」、「みんなの居場所の目印なんだ、こののぼり旗は」との声が聞かれました。

今後、雄勝で多くののぼり旗が見られるようになることを願っています。



みんなの居場所の目印!!

河北

～認知症になっても 安心して暮らせるまちへ～

1月27日(水)、河北総合支所会議室にて河北地区の老人クラブ会員を対象に、認知症サポーター養成講座が開催され、講師の河北地域包括支援センター職員のみなさんから、認知症の症状や認知症の方への対応の仕方などを教えていただきました。また、河北地区の高齢者の現状や介護認定の審査状況などにも話が及び、河北地区の3人に1人が65歳以上であるという話になると、どよめきが起こるなど、熱心に耳を傾けていました。

最後には「何か特別なことを行わなくても、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になっしてほしい。」と教えていただきました。



熱心に講座を聞く参加者のみなさん

～地域サロンお茶っこ会 開催～

2月10日(水)、寄磯「ドイツハウス海友館」を会場に、寄磯地区住民が自主的に活動しているお茶っこ会が開催されました。当日は、多くの参加者で新年会も兼ねた行事となり、カラオケや踊りが披露されるなど、とても盛り上がりのある会となりました。

毎月1～2回開催されるお茶っこ会にぜひ参加してはいかがでしょうか?



お茶っこ会の様子

牡鹿

～一緒に手作りお弁当を作ってみませんか?～



弁当づくりの様子

牡鹿給食ボランティアでは、手作りのお弁当を作っていただけるボランティアさんを募集しています。2か月に1回一人暮らし高齢者を対象として、四季折々の栄養たっぷりの野菜・愛情たっぷりのお弁当をお届けしております。年齢は問いませんのでぜひボランティア活動と一緒にしてみませんか?

詳細は下記までご連絡下さい。
お問い合わせ先: 牡鹿支所 ☎45-2684

～認知症と食について学びました～

1月12日(火)、石巻市の協力のもと、石巻グランドホテルを会場に、石巻支部老人クラブ連合会会員約160名が参加し、研修会が開催されました。

今回の研修会は、東京都健康長寿医療センター研究所の枝広あや子研究員を講師に迎え、「認知症と食」についてアルツハイマー型認知症の事例に基づき、注意力と食べ物の飲み込みのメカニズムを映像を交えながら分かりやすく説明いただきました。

会員からは「物忘れ」と「認知症」の違いについての質問があり、行為自体の記憶(エピソード)がないことが認知症であるということも学びました。

なお、この研修会は牡鹿支部老人クラブ連合会との共催で実施し、他支部との交流を図る機会ともなりました。

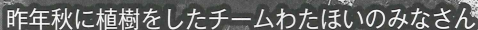


講演の様子



真剣に講演を聞いています

石巻



NPO 法人
さくら並木ネットワーク

三つ葉のまゆみ

盤上で熱戦が繰り広げられました

寿楽荘 無料映画上映会開催

第3巻

東日本大震災

～宮城県石巻市災害記録～

宮城県石巻市

ボランティアセンター通信

～ 平成28年度ボランティア保険 更新手続きを忘れずに!! ～

本会では、安心してボランティア活動をするために保険加入を推進しています。詳しくはボランティアセンターまたは、各支所へお問い合わせください。

* 保険加入は社協ボランティアセンターへの登録が必要です。 * 平成28年度分の受付は毎月22日より行います。

ボランティア活動保険	補償期間	申込日の翌日からその年度末(H29.3.31) まで	
	補償内容	傷害	ボランティア自身のケガ
		賠償責任	他人にケガをさせてしまった、人の物を壊してしまった場合の損害賠償など
	保険料	300円から800円(5種類のプランがあります)	
行事保険	内容	傷害	行事参加者のケガ
		賠償責任	主催者の損害賠償
		行事開催中のみ補償されます	
	保険料	宿泊なし	30円～(行事内容により異なります。)※最低20名分からの加入となります。
		宿泊あり	227円～宿泊数により異なります。
	申し込み	1回の行事ごとの個別申し込みと、年間一括申し込みがあります。	

このような研修会・講座を開催しました

第5回レクリエーション研修会

2月6日(土)、河南老人福祉センターで、いしのまきレクリエーション協会の会員の方々が講師となり、道具を購入しなくても、誰でも簡単に手作りできるカードゲームの作成や、年齢を問わず楽しめるゲームを教えていただきました。



犬との幸せ講座



2月20日(土)、旧みなと荘で、日本ペットサロン協会の会員有志の方々が講師となり講座を開催しました。

犬を飼ってみたいと思っている方は、犬種の説明やクイズで飼うために必要なことを楽しく学び、飼い始めたばかりの方には、パピーパーティー(仔犬たちがじゃれ遊びながら社会性を身に付ける場)や相談会が行われました。



災害ボランティア講座開催

2月27日(土)、旧みなと荘を会場に、ピースボートのプログラムオフィサーの小林深吾氏・垣貫紀彦氏を講師に迎え、「災害ボランティアについて(入門編・スキルアップ)」をテーマに講演いただきました。

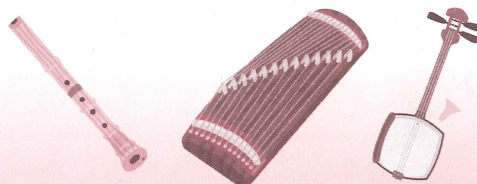
支援の方法や仕組みのほか、被災地支援活動で困ったことなどについてグループワークを行い、支援の形は一つでないことを参加された方々に理解していただきました。

本会が今年度から始めた「災害ボランティア登録制度」では、現在、50人を超える方々に登録頂いております。引き続きみなさまのご協力をお願いします。



ボランティア募集しております

三味線や琴・尺八など文化的な活動をしている方を募集しています。高齢者施設などで皆様の練習の成果を披露してみませんか。



ひろがる善意の輪

ご寄附ありがとうございます

平成27年12月1日

平成28年1月31日までの受付分

●石巻支所

蛇田公民館利用協

佐藤貞一

石巻東ロータリークラブ

橋本喜代三

住吉地区老人クラブ連合会

石巻南ロータリークラブ

山下地区老人クラブ連合会

石巻市立蛇田小学校

石巻西ロータリークラブ

秋本馨(千葉県)

株式会社ティケイシイ

石巻電算センター

匿名希望 5件

●河南支所

石巻中央公民館つくも大学

コーラスクラブ

河原・西谷地お茶会

豊かに老いる会

蛇田中剣道部

柳江山濟北寺 木村周幸

石巻工業高校柔道部

北村地区ミニライセンサー

親睦会

●桃生支所

匿名希望 1件

●復興支援課

西尾 由里(岐阜県)

みんなと行兵衛茶屋

匿名希望 3件

●かしわホーム

公益社団法人石巻法人会

河北ライティング

ソリューションズ

岡部八代枝

匿名希望 1件



石巻南ロータリークラブ



蛇田公民館利用協

※敬称略

寄附金並びに寄附物品は、本会の事業を推進するうえで、非常に大きな支えとなっており、みなさまからのご寄附を随時受け付けております。みなさまからお寄せいただきました寄附金は、配分委員会で審議し、紙おむつ等購入助成事業や福祉用具貸出事業、また、地域において福祉の向上を目的として活動している団体への支援のための財源とさせていただきます。また、物品は、本会の事業などにおいて有効に活用させていただきます。

各地域福祉推進事業の報告書提出のお願い

地域福祉推進のため、各事業をご活用いただきありがとうございました。

平成27年度中に、下記事業をご活用された個人・団体におかれましては、今年度の事業が終了次第、速やかに報告書のご提出をお願いいたします。なお、みなさまから寄せられたご意見や感想は今後の地域福祉事業に役立たせていただきます。

事業名：地域サロン活動支援事業助成

提出物：①報告書・②収支決算書・③領収書(写し)・④活動が分かる資料や写真

事業名：子育てサークル活動支援助成

提出物：①報告書・②収支決算書・③領収書(写し)・④活動が分かる資料や写真

事業名：フードバンク事業

提出物：①報告書・②活動が分かる資料や写真

事業名：共同募金「住民支え合い活動助成」

提出物：①精算報告書・②領収書(写し)・③活動が分かる写真



石巻市社会福祉協議会 各支所 お問い合わせ先

本 所	〒 986-0822 石巻市中央二丁目 4-20
石巻支所	TEL 0225-96-5290 FAX 0225-96-5223
河北支所	〒 986-0132 石巻市小船越字山畑 417-54 TEL 0225-62-1077 FAX 0225-62-1079
雄勝支所	〒 986-1332 石巻市雄勝町小島字和田 18-13 TEL 0225-61-3011 FAX 0225-61-3022
河南支所	〒 987-1101 石巻市前谷地字黒沢前 35 TEL 0225-72-3725 FAX 0225-72-2408
桃生支所	〒 986-0313 石巻市桃生町中津山字八木 157-1 TEL 0225-76-1020 FAX 0225-79-1018
北上支所	〒 986-0201 石巻市北上町十三浜字吉浜 266 TEL 0225-67-3025 FAX 0225-67-2031
牡鹿支所	〒 986-2523 石巻市鮎川浜清崎山 7 TEL 0225-45-2684 FAX 0225-45-2785

編集後記

震災より5年、この5年を長く思うか短く思うかは、個々に違いがあると思います。

災害ボランティアセンターと共に復興支援活動をしてきたNPOなども、その活動を縮小した団体や、役割を果し石巻をあとにした団体もあり、寂しさを感じます。

これからは、我々市民が自らの力で、支援いただいた方々の想いを大切に、5年先、10年先を見据え、「子ども達が安心し・高齢者が和やかに暮らせる石巻」を目指し、自分も、自分自身と後輩に喝を入れます！
(平)

